



# スキー協通信

No.468

発行

2024.6.1

## 東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：[info@tokyoskikyo.org](mailto:info@tokyoskikyo.org)

ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)

00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

広報局専用 E-mail：[tskikyo.koho@gmail.com](mailto:tskikyo.koho@gmail.com)

発行責任者

出崎福男

## 東京スキー協第 57 回定期総会を開催します

この 1 年を振り返り、クラブと東京スキー協の魅力拡大を語り合ひましょう

日時 2024年6月16日(日) 午後1時15分開会～4時45分閉会

会場 北区立 滝野川西区民センター内 滝野川西ふれあい館第1ホール

総会は、東京スキー協の最高議決機関です。すべてのクラブの知恵を結集して総会を成功させましょう。

東京スキー協の大きな課題は、会員の減少と高齢化です。会員減と行事参加者の伸び悩みから、財政的にも厳しさを増してきています。組織を維持・拡大していくために、女性と若い世代のスキーをめぐる特徴や指向をつかみ、これらの層を視野に入れた活動を展開していくことも必要不可欠となっています。

気候変動・地球温暖化の問題も待たなしです。私たちができることは何か考え、行動することが大切です。また、気候変動を考慮したスキー行事の立案や、気候変動対策を進めているスキー場での行事を行うなど、温暖化を考慮した活動も検討しましょう。

活力ある 57 期の東京スキー協をめざして！



指導員合格を祝う会  
2024/4/21(日)

## 鳥海山山スキー教室

2024/5/3-5(金-日)



### 目次

東京スキー協第 57 回定期総会開催案内	1 頁
リレーエッセイ「雪紋」／新指導員の声	2 頁
鳥海山山スキー報告	3 頁
東京スキー・スノーボード競技大会お知らせ／会議の報告／6月のカレンダー／エビノシippo	4 頁

東京スキー協 常任理事 矢吹 健

今更ですが、スキーは元々「費用」がそこそこかかります。このシーズンは費用の上昇が一気にきたことが積雪不足と同様にゲレンデでの話題でした。

そんな中この4月から「特別支給」の厚生年金を受け取り始めました。通常の「年金」支給は原則65歳からですが、自分の世代までは繰上げではなく「特別」支給が64歳からあります。給与以外の支給日に僅かでも定期的に入金があるのはあまり経験がないので今のところは妙にワクワクしています。

一方で雇用延長ということで厚生年金を払いながらの就業中ですから「在職老齢年金」になり、給与と年金支給額の合計が一定の基準額を超えると年金がカットされます。（基準額の中に自由に使える訳ではない交通費が含まれている点は納得できないですが）幸い？なことに高齢者の就業意欲を削ぐということで数年前からこの基準が高めに改定されたのはよい流れではあります。

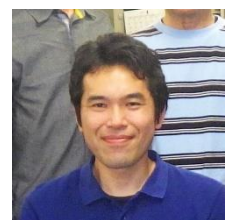
何にしてもこの辺りの話は自分で情報を集め、同時に送付されてきた書類を確実に読み込んで申請する必要があります。例えば、現在日

本に住んでいると20歳から就業、未就業に関わらず国民年金の支払い義務がありますが、自分の学生時代、払っている人は皆無でした。というか、全くその認識がありませんでしたし、払ったほうがよいと語る人もいませんでした。大きく取り上げられた「消えた年金問題」の前後の誕生日に届いた「ねんきん定期便」を見て1ヶ月10万そこそこの見込み金額だったので愕然とした記憶があります。その後、色々情報集めて学生時代の未払い月分については60歳以降厚生年金を納めることで「経過的加算」として穴埋めされると聞いて少し安堵しました。他にも給与天引きされていた介護保険が自治体から徴収されるようになるとか、健康保険はどうするかとか色々関門がありますが、一つ一つ乗り越えていくしかありません。

自分の思惑としては年明け早々の誕生日で「退職」してスキー滑走日数倍増！！と行きたいのですが、それを保障する費用をどのような形で確保していくか連れ合いと調整しつつ、健康状態のキープを最優先に新しい段階に向かいます。

## 新指導員の声 指導員合格を祝う会にて 2024/4/21（日）スキー協事務所

**濱津 順平さん**：スキー協の「スキー教程」は競技にも応用できる。まだ、それを読み切れていない部分もあるので、ちゃんと自分の技術にしていきたいし、これからはそれを伝えなければいけない。まだ「模擬指導」（指導法実技）でしかやっていないので、それを教室の限られた日程でどうやって伝えていくのか、先輩の皆さんにご指導いただくと共に、自分でも考えて実践していきたい。



**高林 輝さん**：クラブで教わってきたことが「スキー教程」のあの部分だったのか、とフラッシュバックすることがあり、それを一つ一つ確認することで滑りも良くなっていった。その過程が楽しかった。この資格をとったことで、スキー協以外の仲間にもスキーを学ぶ楽しみを広げたいし、話し、教えるというスキルも上げていきたい。



### Q&A（事前インタビュー）

Q 1. 合格に向けて最も努力したことは？ Q 2. 新指導員としての抱負は？

**濱津 順平さん（プレアデス）**

A 1. 暗記とベーシックパラレルターンでのスピード制御

A 2. 幅広いスキー技術に触れて、いろんな応用技術への興味を引き出せる指導員を目指しています

**高林 輝さん（シーハイル）**

A 1. 週末の練習に向けた時間の捻出と早寝早起き

A 2. 資格に恥じない滑りを目指して精進します！

# 鳥海山山スキー教室 2024/5/3-5

--- 晴れ渡る鳥海山の大斜面を滑降 ---

5月3-5日に今シーズン4回目の山スキー教室、鳥海山山スキー教室を実施しました。メンバーは4名の参加者とリーダー1名に、岩手県スキー協の仲間4名が加わり総勢9名となりました。

初日は、宿に10時に集合した4名と、7時30分に出発した前日に到着していた1名と岩手の仲間の2グループに分かれての出発となりました。前日山に入った人から、スキーの滑走面に油状のものが付着するとの情報が入ったので、宿から灯油を少量いただき持参して鳥海山に向かいました。



天気は快晴、風も弱く快適な出だいで、祓川からシール登高を開始。鳥海山の全容を眺めながらゆったりと足を進める。気温も高くジャケットは不用なほどの陽気でした。矢島口を登って尾根の茂みの切れ目を探して登りやすいコースを選び、七ツ釜避難小屋付近で休憩昼食をとっていると、先行した岩手の仲間から無線が入り、七高山に到達したとのこと。そこから滑降に移るとのこと。我々の今後の行動について協議。その結果、今日はここまでとして下山の体制を整え、祓川に向かいました。

雪質は安定していて思ったより快適に滑降でき、滑降コースを選びながら無事祓川に到着しました。懸念された油状のものは気にならなかったのですが、宿に着いて滑走面を見ると汚れていたため、洗剤で落としました。食事後に岩手の仲間と翌日の予定などについてミーティングし交流しました。

2日目は、岩手の仲間と一緒に8時に出発。初日と同様、祓川から登高するが気温が高く汗をかく。前日のコースをたどり七ツ釜避難小屋を經由して氷の薬師を通過、舍利坂を登り頂上にかかる

急斜面に達したが、前日に登った時の雪の感触はあまりよくなく、登る苦勞の割には滑りの感触は大したことなかったため、岩手の仲間の帰りの時間も考慮して、今日は七高山まで行かず、鳥海山の北東斜面を滑降することにしました。

この斜面は大きく斜度もあり快適に滑降できました。皆さん楽しくのびのびと滑っていました。しかし、そのまま北東方向に滑り降りてしまうと、迎えが来る駐車場とは違う方向に行ってしまうので、コースを修正しながら熊の森駐車場に向けて滑降。途中、斜度が緩やかになって鳥海山の山容がきれいに見えるところで休憩しました。行動食でエネルギー補給と水分を補給して再び滑降に移る。これからは複雑に入り組んだ小沢を迷わないようにコースを選びながら進んでいく。途中の少し深い沢の淵は狭く滑り落ちそうなスリリングな所もありましたが無事に通過。駐車場近くまで来ると、雪がなぜか黒ずんでおり、滑りも悪く平らなので、そこで板を脱ぎ担いで駐車場まで歩きました。駐車場に着いて滑走面を見ると油状のものが付いて黒くなっていました。宿に戻ってから灯油でふき取り、ワックスをかけて翌日の準備を行いました。

3日目も天気が良い。今日は12時に解散予定だったが、この二日間の滑降で参加者は満足しており、時間的に大して登れないのと滑走面の汚れをメンテナンスする苦勞を考え、山に入らないことを選択し、朝のうちに解散することになりました。今回は天気に恵まれ、雪もそれなりにあって満足のいく滑りができた充実感をもって山スキー教室を終了しました。

(山スキーリーダー 吉田 安信)



## 第 49 回東京スキー・スノーボード競技大会についてお知らせ

「第 49 回東京スキー・スノーボード競技大会」は 2025 年 2 月 8 日（土）・9 日（日）に、昨シーズンと同じシャトー塩沢スキー場で開催します。希望の強かった前日練習会も開催予定ですので、各クラブのみなさま、クラブ行事として取り組みをお願いします。実行委員会も早めに立ち上げ予定ですので、お知らせが届きましたら、参画をお願いします。（大会実行委員会）

## 会議の報告

第 56 期 第 13 回常任理事会 2024.5.8（水）

オンライン会議 出席 11 人／13 人中

### 当面の日程

- 6 月 5 日 第 14 回常任理事会
- 6 月 16 日 東京スキー協総会
- 6 月 21-23 日 山スキー愛好者交流会

### 討議事項

1. 第 57 回東京スキー協総会議案確認  
前回の常任理事会での修正部分を確認した
2. 第 57 回東京スキー協総会準備について
  - ① 代議員の選出文書発出＝4 月 29 日
    - ・役員の出欠確認を文書で行う。理事の出席を促進するため。
  - ② 役員、理事の選出について
    - ・選挙管理委員が選出されていない中なので、役員選考委員会名での告示
    - ・理事未選出クラブへの早期の対応を
    - ・役員選出クラブは別に理事の選出を
    - ・女性理事を→理事選出の目標を理事会で提起するべきでは？ 具体的対応は二役を中心に常任理事の協力も得ることを確認。会員の男女比は

どのようになっているのかそれをふまえる必要がある。組織局で資料を作成してほしい。

### 3. 第 5 回理事会について

資料は早めに理事に配信をお願いしたい。総会の準備

### 4. 技術部選出基準の変更について

目的・役割・構成などの説明。変更は若い力を生かすためであり、常任理事会は承認。

### 5. 各部局の報告、提案（一部）

競技スキー委員会…過去の行事参加者に新しい参加者を加え、参加者を 30 名程度に拡げたい。HP 等を活用したい。

### 6. その他

- ① 50 周年記念誌の制作状況  
最終校正の作業・150 部製作予定／予算 46,600 円、総会に間に合わせる
- ② 議案書印刷・配布  
印刷の日程は調整して連絡する／議案書発送は代議員に直接郵送・メール配信も利用する／決算報告書・予算案の資料は早めに常任理事に配信を／6 月の常任理事会で審議する

## 6月のカレンダー

6 月	行事名	7 月	行事名
5（水）	常任理事会		
16（日）	第 57 回定期総会		
21-23（金-日）	山スキー愛好者交流会		

## 編集後記 エビノシッポ

今シーズンのスキーも無事終わり、ほったらかしていた雑務に取り掛かり始めました。この冬から春にかけて脚がひどくつることが多く、医者にかからないまでも人から聞いて漢方薬を試した次第。これからは、日常生活の作業とともに、スキーを続けられる体力維持にも取り組まなくては…。（H.K.）